

あびこ鳥だより

SPRING
2011
【春号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.25



<目次>

特集ページ・・・・・・・・・・ 2

絶滅に追いやられた鳥「ドードー」

最新情報・・・・・・・・・・ 3

新企画展「てがたん展～パート3～」スタート！

鳥類研究者によるテーマトークスタート！

オウサマペンギンの新標本を展示

イベント情報・・・・・・・・・・ 3

河原で春の花と鳥を観察しませんか？

我孫子市鳥類調査結果・・・ 4

表紙の鳥 カワラヒワ

「絶滅に追いやられた鳥ドードー」

3階展示室に新しく「ドードー」のレプリカ(複製模型)を展示しました。ドードーのはく製はこの世には存在しないので、羽色は古い絵画や文献を参考にし、ダチョウ、ハクチョウ、クジャク、ニワトリ(オヒキチャボ)の羽で再現しています。ぜひ皆さん、見に来てください。今回はドードーの絶滅とその生態について特集します。ドードーは始祖鳥やディアトリマのように人類が地球上に出現する前に起こっていた自然淘汰や生存競争などによる絶滅とは違い、人類によって絶滅に追い込まれた鳥です。

【ドードー (DODO)】

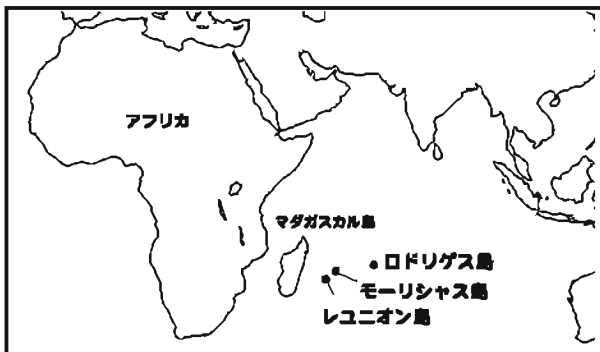
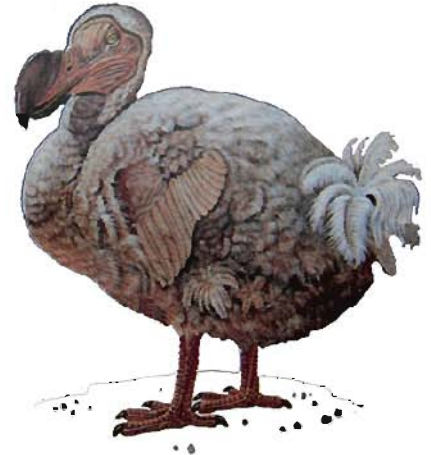
学名:*Raphus cucullatus*

分布:モーリシャス島

ハト目に属しているおよそ1mの大きさの飛べない鳥。インド洋マスカリン諸島のモーリシャス島に生息していました。くちばしは太く巨大で、先が鉤形に曲がっていて、翼は小さく、尾は丸まったようになっていて、脚は短いという特徴があります。

ドードーは人を恐れず、飛べなかったことから、容易に捕まえることができ、人間のかつこうの食料となりました。ヨーロッパ人は大量にドードーを捕獲し、塩漬けにして寄港する船の食料としました。1500年初頭にモーリシャス島が発見されてから1670年頃にはドードーは、まったく見られなくなっていました。

骨格は、モーリシャス島で多数見つっていますが、完全な剥製は残っていません。唯一保存されていた標本は、1755年に頭と脚を残して燃やされてしまいました。現在、その表皮の残ったドードーの頭と足はイギリスの博物館に保存されています。



モーリシャス島ってどんな島？

インド洋マスカリン諸島のひとつで、マダガスカル島沖約900kmに位置します。15世紀末、ヨーロッパ人はアフリカを回ってインドに到達する航路の途中で補給基地となる島を探していました。モーリシャス島は、1500年初頭に、ポルトガル人によって発見され、その後1638年オランダ人が島に住むようになるまで、無人島でした。

●ドードーの食べ物

ドードーは森林に棲み、低木の果実や林床に落下した木の実や種子を主食にしていたと考えられています。ドードーの胃は強靱で堅い種子も破壊できていたと考えられています。同じくモーリシャス島に生えるアカテツ科のカルバリアの木の実果は非常に堅い種子を持っており、硬いままでは発芽せず種皮に傷をつけてやらないと発芽できません。最近までカルバリアの若木が自然界で見つからなかったのもドードーの絶滅とともにカルバリアの木もまた消えゆく運命共同体と考えられました。Temple, S.A. (1977)が提唱したドードーとカルバリアの木との共進化には、反対意見もあります。実験がシチメンチョウで行われたことや、シチメンチョウの筋胃で種皮がどのくらいすり減らされるか計測していないことなど、共進化を結論付けるには裏づけが足りないとの指摘があります。自然界でカルバリアの木が絶滅の危機にあるのは、広域伐採、導入植物との競合、人が持ち込んだブタやサルなどによって種子や芽が食べられてしまったことなど複数の要因があると言われています。

しかしいずれにせよ1つの種の絶滅はそれと共進化してきたいくつもの種を道連れにすることは予想できます。

Temple, S.A. 1977. Plant-animal mutualism: Coevolution with dodo leads to near extinction of plant. Science 197 : 885-886

【ドードーの仲間の謎】

シロドードーについて

マスカリン諸島の1つレユニオン島に生息していたとされていますが、実際には骨は見つかっていません。シロドードーは絵に描かれています。これは色をつける前の下絵であったとか、モーリシャスドードーのアルビノだったとか、レユニオン島にいたトキの仲間と勘違いしていた。などさまざまな意見があります。

ロドリゲス・ソリテア (*Pezophaps solitaria*) について

マスカリン諸島の1つロドリゲス島に生息していました。同じドードーの仲間とされていますが、ドードーよりも細身で、頭も小さく、くちばしも細く、19世紀に、ロドリゲス島の洞くつで骨が多数見つかっています。ドードーとソリテアの姿の違いは、それぞれの島の環境の違いによる進化の差異であるとか、ソリテアはハトの仲間ではなくクイナに近いのではないかという研究者もいます。

第59回企画展「てがたん展～パート3～」がスタートします！

「てがたん」は手賀沼定例探鳥会のことで、鳥の博物館の自然観察会です。2004年4月に始まった「てがたん」は今年で7年目を迎えます。毎月テーマを決め、その季節の見どころを楽しむとともに、観察したすべての生物を毎月記録しています。

これまでに2004年にパート1、2006年にパート2を開催しました。その時で扱うテーマによって、観察される生物の種類は多少かたよりますが、回数を重ねるごとに、記録が平均化され、季節の季節変化や年を経た変化などが徐々に読み取れるようになってきます。パート3では、これまでの記録から各季節のハイライトシーンを紹介します。

開催期間：4/29（金・祝）～7/10（日）



カラムシについたラミーカミキリ

鳥類研究者によるテーマトークを4月より毎月開催します

4月より毎月第2土曜日に鳥類研究者によるテーマトークを開催することになりました。博物館に隣接する公益法人山階鳥類研究所の연구원の方に、普段なかなか聴けない鳥類の研究や体験談について、お話していただきます。

開催日：毎月第2土曜日 13：30～14：00



オウサマペンギンの標本を展示しています！

3階世界の鳥コーナーにオウサマペンギンの標本を追加しました。上野動物園から寄贈していただき、作成した標本です。このペンギンはメスで、1991年に動物園にチリ共和国から来園し、2007年9月20日に死亡しました。

オウサマペンギンは体長85～95cmで、エンペラーペンギンの次に大きいペンギンです。南極大陸周辺の島で繁殖し、小～中型のペンギンと違って巣を作らず、卵を脚の上で温めます。抱卵期間はおよそ54日にもなります。ヒナの標本も一緒に展示してるので、ぜひご覧ください。



3階世界の鳥コーナーに展示中！

イベント情報

*震災の影響により、4月のイベントは全て中止になりました

●自然観察会

○てがたん～手賀沼定例探鳥会

時間：10：00～12：00

集合場所：博物館玄関（参加無料・予約不要）

〈中止〉4月9日（土） 「桜と春の花」

5月14日（土） 「鳥のさえずりと子育て」

6月11日（土） 「チョウの食草」

○〈中止〉あびこ観察隊 利根川ゆうゆう公園自然観察会

日時：4月29日（金・祝）9：00～12：00

集合場所：利根川ゆうゆう公園野球場前駐車場

定員先着30名（要電話予約）

申込み：我孫子市公園緑地課 04-7185-1542

*4月16日より申込み受付開始

●講演・座談会

○とりはくティーパーティー

時間：13：30～15：00

場所：博物館友の会ルーム（参加無料・予約不要）

〈中止〉4月2日（土）「我孫子のオオパン」

話題提供：斉藤安行（鳥の博物館学芸員）

6月4日（土） テーマ・話題提供者：未定

○テーマトーク

時間：毎月第2土曜日 13：30～14：00

場所：博物館友の会ルーム（参加無料・予約不要）

講師：山階鳥類研究所研究員

2011年4月～6月

*すべての観察会で中学生以上の方は保険料100円が必要です

お問い合わせ：鳥の博物館 ☎：04-7185-2212 FAX:04-7185-0639

●手賀沼水面鳥類センサス結果

調査日:2010年12月17日、2011年1月14日、2月15日(9:00~13:00)

科名	種名	個体数(12月)	(1月)	(2月)	
カイツブリ科	カイツブリ	25	91	43	
	ハジロカイツブリ	5	3	0	
	カンムリカイツブリ	61	45	31	
ウ科	カワウ	180	47	62	
サギ科	ダイサギ	9	9	3	
	コサギ	38	20	10	
	アオサギ	19	17	13	
カモ科	コバクハチョウ	28	32	16	
	マガモ	6	139	93	
	カルガモ	89	147	214	
	コガモ	377	455	172	
	オカヨシガモ	4	11	10	
	ヒドリガモ	72	0	0	
	オナガガモ	360	384	190	
	ハシビロガモ	0	4	0	
	ホシハジロ	2	10	1	
	キンクロハジロ	2	2	0	
	ミコアイサ	15	32	18	
	カモ科sp	2	0	0	
	タカ科	ミサゴ	1	2	2
		チュウヒ	0	1	0
ノスリ		0	0	1	
クイナ科	バン	2	2	3	
	オオバン	63	128	126	
シギ科	イソシギ	1	0	0	
カモメ科	ユリカモメ	276	212	93	
	セグロカモメ	8	4	6	
カワセミ科	カワセミ	3	5	8	
セキレイ科	ハクセキレイ	2	1	0	
	タヒバリ	0	1	0	
カラス科	ハシボソガラス	36	3	1	
家禽や外来種	バリケン	3	5	3	
	アヒル	1	7	2	
	ドバト	0	26	15	
合計	34種	1690	1845	1136	

●岡発戸の谷津田鳥類センサス結果

調査日:2010年12月16日、2011年1月14日、2月16日(9:00~12:00)

科名	種名	個体数(12月)	(1月)	(2月)
ウ科	カワウ	3	0	0
サギ科	ダイサギ	0	0	1
	コサギ	0	1	0
	アオサギ	0	1	0
タカ科	タカ種不明	0	1	0
キジ科	キジ	3	0	1
ハト科	キジバト	11	3	3
カワセミ科	カワセミ	1	1	0
キツツキ科	コグラ	3	5	4
セキレイ科	キセキレイ	1	1	1
	ハクセキレイ	0	1	1
	セグロセキレイ	4	3	3
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	57	29	15
モズ科	モズ	4	3	8
ツグミ科	ジョウビタキ	1	5	2
	ルリビタキ	0	0	0
	アカハラ	3	2	4
	シロハラ	0	1	2
	ツグミ	10	11	20
	ツグミ科種sp1	2	0	0
	ツグミ科種sp2	11	4	6
ウグイス科	ウグイス	8	2	7
エナガ科	エナガ	0	6	0
シジュウカラ科	ヤマガラ	0	0	2
	シジュウカラ	5	3	6
メジロ科	メジロ	6	12	6
ホオジロ科	ホオジロ	7	2	15
	カシラダカ	0	30	1
アトリ科	アオジ	28	26	53
	カワラヒワ	35	10	20
ハタオリドリ科	シメ	14	0	5
	スズメ	10	47	14
ムクドリ科	ムクドリ	0	3	8
カラス科	カケス	1	1	8
	ハシボソガラス	10	4	7
	ハシブトガラス	3	12	0
合計	36種	241	230	223

利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)
館内整理日、年末年始(12/29~31、1/1~4)
- 入館料

区分	個人	団体(20名以上)
一般	300円	240円
高校生、大学生	200円	160円
小・中学生	100円	80円

*以下の方は入館料が免除されます

- ①70歳以上の方 ②障害者手帳をお持ちの方(付き添い1名含む)

●お問い合わせ:我孫子市鳥の博物館

〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
 ☎:04-7185-2212 FAX:04-7185-0639
 ホームページ: <http://www.bird-mus.abiko.chiba.jp/>

交通案内

- 電車とバス利用
JR 我孫子駅下車、我孫子駅南口バス停より市役所経由バスで「市役所」下車、徒歩5分
*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています
我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
- 自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場あり)

